

市民の視点に立った 行政と地域社会のデジタル変革を推進

伊達市は、国が推進するDX（デジタルトランスフォーメーション）に呼応した行政と地域社会全体のデジタル変革をこれまで以上に迅速かつ重点的に推進するため、令和3年7月に策定した「伊達市DX推進方針」と国の「自治体DX推進計画」に基づく5つの取り組みを軸に、市民の視点に立った行政と地域社会のデジタル変革を令和7年度まで集中的に進めてまいります。

1 伊達市DXの5つの取り組み

- (1) 市民の視点で進める新たな行政手続の取り組み
- (2) デジタル技術の活用とBPR（業務見直し・業務改革）の徹底による行政機能の高度化・効率化
- (3) 職員の意識改革・人材育成を含めた組織の変革
- (4) 行政サービスのデジタル化を支えるICT環境の再整備
- (5) 誰もがデジタル化によるメリットを享受できる地域社会の構築（地域のDX）

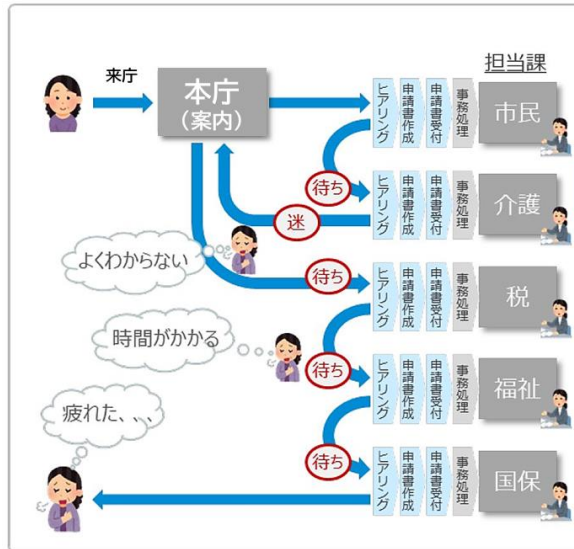
2 本市における令和4年度の主なDX事業

- (1) 市民の視点で進める新たな行政手続の取り組み
 - ・本庁舎おくやみコーナー設置とデジタル手続ガイドの導入 1,685千円
 - ・LINE公式アカウントによる情報配信と質問対応チャットツールの運用 1,716千円
 - ・市税のスマートフォン収納の開始 132千円
- (2) 誰もがデジタル化によるメリットを享受できる社会の構築
 - ① デジタルを活用した“産業の振興と関係人口の創出”
 - ・中小企業デジタル化推進（ICTを活用した販路拡大・生産向上の取り組み支援） 3,000千円
 - ・オンライン観光（観光・物産情報のSNS配信、デジタル仮想空間での観光体験等） 1,716千円
 - ・市内周遊サイクルアプリの導入 3,614千円
 - ② デジタルを活用した“教育の向上”
 - ・市内小中学校でのタブレット活用による学習活動やプログラミング教育の推進等 45,957千円
 - ③ デジタルデバイド（情報格差）の是正とデジタル社会に対応した地域人材の育成
 - ・高齢者などデジタルに不慣れな方を対象とするスマホ教室の開催 3,630千円
 - ・デジタルサポータ育成講座（地域のデジタル人材育成） 542千円

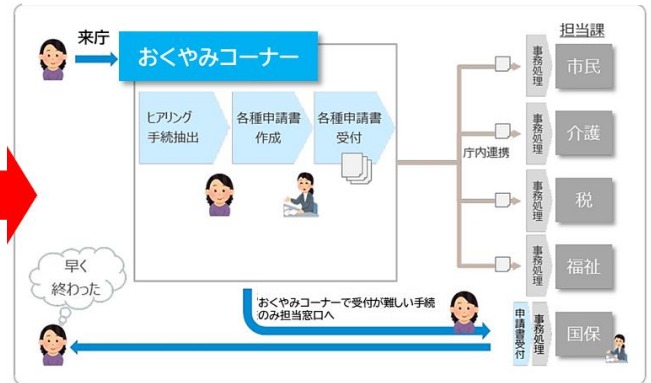
3 本庁おくやみコーナー設置による手続向上のイメージ

①現状のイメージ例

※実際の本誌の状況とは異なります。



②おくやみコーナー設置後のイメージ



■おくやみコーナーの利用予約について

- ・事前予約(QRコードからのオンライン受付や電話での予約)をご案内する。
- ・予約時に、来庁日時とおどくなりになった方の基本的な情報をお聞きすることで、事前に手続きを絞り込み、各担当課と必要な手続き、おくやみコーナーで受付可能な手続きについて確認する。
- ➡手続き時間の短縮、スムーズな受付に繋げる

【参考・出典】おくやみコーナー設置ガイドライン 第1版(令和2年5月15日 内閣官房IT総合戦略室)

4 デジタルデバインド対策

デジタル活用支援

高齢者などICTツールの不慣れな方を対象とするスマホ教室



市内5地域の中央交流館等で各2回開催

スマートフォンは、デジタル技術を活用した各種サービスを利用する側と提供する側を繋ぐ役割を持っている。行政手続きのオンライン化や地域でのデジタル活用を進めていくために、高齢者などICTツールの利用が不慣れな方にスマホの基本的な操作を学んでいただくことで、デジタルツール活用のきっかけとしていただく。

※ICT:情報通信技術のこと



デジタル活用サポーター育成講座

- 市主催のデジタル活用支援講座や相談等における相談員、サポートスタッフとして協力いただける方の育成講座。年2回予定
- 地域社会のデジタル化推進、不慣れな方へのサポートを期待

慣れた方はサポーター育成講座への参加も…



地域コミュニケーション、買い物、行政手続きのオンライン申請などに活用

担当 | 総務部総務課
電話 024-575-1111